

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-55231(P2008-55231A)

【公開日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-297970(P2007-297970)

【国際特許分類】

D 0 6 F 25/00 (2006.01)

D 0 6 F 33/02 (2006.01)

D 0 6 F 58/28 (2006.01)

D 0 6 F 58/02 (2006.01)

【F I】

D 0 6 F 25/00 Z

D 0 6 F 33/02 K

D 0 6 F 58/28 A

D 0 6 F 58/02 Q

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月10日(2009.9.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脱水行程終了後、回転翼の回転により洗濯兼脱水槽の内壁面から洗濯物を掻き落とすと共に、洗濯物を解するような解し動作行程を制御する解し動作制御部を備え、

前記解し動作制御部は、前記洗濯兼脱水槽の内壁面から洗濯物が掻き落とされない状態であっても前記解し動作行程が所定時間経過すると、前記回転翼の回転を停止させることを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 2】

前記解し動作制御部が前記回転翼の回転を停止させた後、手解し動作を実行するように報知することを特徴とする請求項 1 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 3】

回転翼を回転する洗濯行程と、洗濯兼脱水槽を回転する脱水行程と、前記洗濯兼脱水槽内に温風を供給する乾燥行程を有した洗濯乾燥機において、前記乾燥行程は前記回転翼を正逆方向に回転して洗濯兼脱水槽の内壁面から洗濯物を掻き落とすと共に洗濯物を解して乾燥する解し乾燥手段と、この解し乾燥手段の過程で回転翼の正逆回転の繰り返し回数がある所定値に至った場合に回転翼の回転動作を停止する回転動作停止手段と、洗濯兼脱水槽を回転して洗濯物を乾燥する回転乾燥手段とを含むことを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 4】

前記洗濯兼脱水槽は、上方開口部を備え回転軸方向を略垂直方向とすることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の洗濯乾燥機。